

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	市民福祉部	健康推進課	内線等	8078
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	母子の健康診査事業				
根拠法令等	母子保健法		Ⓐ法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	保健
------------------	----

事務事業の内容

対象	蒲郡市の乳幼児に
手段	各種健診・検査及び個別指導を受診してもらうことによって
想定する成果	乳幼児の健康増進を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
延受診者数	3,619人	3,495人	3,326人
延対象者数	3,786人	3,620人	3,460人
実施回数	102回	120回	120回

成果指標

成果指標名	受診率	1回当たり受診者数
成果指標の説明	年間延受診者数/年間延対象者数×100	年間延受診者数/年間実施回数

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	95.9%
	実績	96.6%	96.5%	-
成果指標	計画	-	-	27.7人
	実績	35.5人	29.1人	-
事業費	事業費	8,607	8,632	8,894
	人件費	20,135	19,966	20,323
	(人数)	2.7	2.7	2.7
	合計	28,742	28,598	29,217
財源内訳	国	912	772	734
	県	1,369	1,065	1,805
	市債	0	0	0
	その他	1,078	998	949
	一般財源	25,383	25,763	25,729

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	2	受診率も96%以上に達しており目標どおりの事業である。
経済効率性	2	2	少子化の中、一人当たりの一般財源約7100円で前年比増しである。回数を増やし、心理相談等内容を充実させ効果を上げている。
事務効率性	2	2	受診時間2時間30分の中で1回平均30人前後の受診者があり、保健指導以外は臨時職員で行なっており効率性に問題はない。
必要性	3	3	母子保健法に基づき実施しており、乳幼児の健康増進のために必要である。
小計	10 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	市内の乳幼児の大多数が受診しており、問診の聞き取り時に意見、要望等も同時に聞き取っている。
合計	12 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	母子保健法に基づき実施しており、乳幼児の病気の早期発見、早期治療に役立っており、少子化の進む中、今後も乳幼児の健康増進のため必要であると考えます。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

- ・健診時の医師、歯科医師手当の減額をした。

今後改善すべき点

- ・受診率が100%になるように周知して行きたい。
- ・平成15年度より4か月健診にブックスタートを取り入れる。

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	市民福祉部	健康推進課	内線等	8078
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	母子の健康教室事業				
根拠法令等	母子保健法		Ⓐ法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	保健
------------------	----

事務事業の内容

対象	蒲郡市の妊婦、父親、母親及び乳幼児に
手段	各種健康教室に参加してもらうことによって
想定する成果	母子の健康増進及び育児の知識の普及を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
実施回数	298回	197回	180回
延参加者数	2,374人	2,843人	2,840人

成果指標

成果指標名	1回当たり参加者数	
成果指標の説明	年間延参加者数/年間実施回数	

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	15.8人
	実績	8.0人	14.4人	-
成果指標	計画	-	-	-
	実績	-	-	-
事業費	事業費	1,284	1,680	1,625
	人件費	15,728	15,594	15,874
	(人数)	2.1	2.1	2.1
	合計	17,012	17,274	17,499
財源内訳	国	0	0	0
	県	273	533	334
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	16,739	16,741	17,165

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	少子化が進む中、子育てに関心のある母親が増加し、実施回数を減らす中、参加者が増加している。
経済効率性	2	2	実施回数を減らしたが、参加者数は伸び、一人当たり一般財源約5900円で前年比を下回り成果を上げている。
事務効率性	2	2	年間200回程度の開催で2,800人程の参加があり、参加者も増加してきており効率性は良いと考える。
必要性	2	2	子どもの健全な発達のために必要な事業であり、母親等の期待度も高く参加者も多いので必要である。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	母親等の期待も高くまた参加者も急増してきている。しかし、父親の育児に対する認識が低く参加者も少ない。
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	母子保健法に基づき実施しており、育児に必要な知識の普及や親子のふれあいの大切さ等を伝えている。子育て中の母親に大切な事業であり、今後も実施する必要があると考える。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

- ・少子化に伴い平成14年度から母子手帳交付・妊婦相談を週2回から週1回開催とした。
- ・平成15年度より1歳児教室を年12回開催から6回開催とした。
- ・平成15年度よりマザースクールとパパママ教室を合わせて、パパママ教室として開催するようになった。

今後改善すべき点

- ・参加者は殆どが母親であるので、父親の参加も増加させたい。

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	市民福祉部	健康推進課	内線等	8078
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	女性の健康づくり推進事業				
根拠法令等	地域保健法		Ⓐ法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	保健
------------------	----

事務事業の内容

対象	蒲郡市の18歳～39歳の女性に
手段	レディース健診を受診してもらうことによって
想定する成果	若い頃から健康意識を広め、予防と健康増進を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
定員	360人	360人	360人
延受診者数	333人	311人	360人
延要指導者数	121人	127人	139人

成果指標

成果指標名	受診率	要指導率
成果指標の説明	年間延受診者数/年間定員 × 100	年間延要指導者数/年間延受診者数 × 100

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	100.0%
	実績	92.5%	86.4%	-
成果指標	計画	-	-	38.6%
	実績	36.3%	40.8%	-
事業費	事業費	3,773	3,709	3,140
	人件費	4,179	4,132	4,211
	(人数)	0.5	0.5	0.5
	合計	7,952	7,841	7,351
財源内訳	国	0	0	0
	県	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	366	342	354
	一般財源	7,586	7,499	6,997

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	受診率も定員の85%以上ありほぼ目標に近い。
経済効率性	2	2	受診者一人当たりの費用は横ばいである。受診者の35%以上が要精検であり、病気の早期発見に成果を上げている。
事務効率性	2	2	健診は医師会委託であり、市は保健師による問診、聞き取り及び保健指導であり効率性に問題はない。
必要性	2	2	健診の機会の少ない18～39歳の女性・主婦の健康保持と増進のためにも必要である。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	受診者も20代～30代と幅広く、問診の聞き取り時及び保健指導時に市民から意見を聞き取っている。
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	地域保健法に基づき実施しており、39歳以下の女性の病気の早期発見、早期治療に役立っており、健診機会の少ない女性、主婦の健康保持のため必要性があると考えられる。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

<ul style="list-style-type: none"> ・チラシを保育園や児童館に貼ったり、置く等で周知を図った。

今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> ・周知を図り、受診者の増加を図り定員枠いっぱいになりたい。

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	市民福祉部	健康推進課	内線等	8078
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	乳幼児・学童の集団予防接種事業				
根拠法令等	予防接種法・結核予防法		㊤法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	保健
------------------	----

事務事業の内容

対象	蒲郡市の4か月児～90か月未満児に
手段	集団で予防接種してもらうことによって
想定する成果	感染のおそれのある疾病の発生及びまん延の予防を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
延対象者数	10,967人	10,441人	6,970人
延接種者数	10,433人	9,855人	6,970人
予防接種内容	ポリオ予防接種・三種混合予防接種・二種混合予防接種・BCG予防接種		

成果指標

成果指標名	接種率	
成果指標の説明	年間延接種者数/年間延対象者数×100	

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	100.0%
	実績	95.1%	94.4%	-
成果指標	計画	-	-	-
	実績	-	-	-
事業費	事業費	40,013	38,102	33,118
	人件費	5,015	4,958	5,054
	(人数)	0.6	0.6	0.6
	合計	45,028	43,060	38,172
財源内訳	国	0	0	0
	県	3,741	3,741	3,707
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	41,287	39,319	34,465

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	接種率もほぼ95%に達しており目標どおりの事業である。
経済効率性	3	3	少子化に伴い接種回数を減らし事業費削減を図った。また、医師会の医師と看護師の委託料の削減を図っていく。
事務効率性	2	2	予防接種は医師会委託であり、市は受診票の発行と受付等であり効率性に問題はない。
必要性	3	3	予防接種法に基づいて実施しており、子どもの健康保持のため必要である。
小計	11 / 12 満点中	11 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	電話や窓口の対応、問診の聞き取り時に市民の意見を聞き取っている。
合計	13 / 15 満点中	13 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	予防接種法、結核予防法に基づき実施しており、感染症の流行を抑えており、子どもの健康保持のため必要な事業です。
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

- ・平成11年度から平成12年度で日本脳炎の集団接種から個別接種に変更した。
- ・平成12年度から外国人の対象者に母国語の問診票を同封し郵送した。
- ・医師が市民病院で接種することが望ましいと判断した場合、市民病院で接種できるように体制を整えた。

今後改善すべき点

- ・出生数の減少に伴って実施回数を見直す。
- ・人員の配置を正職員の事務職から臨時雇用の看護師に替えていくよう検討する。

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	市民福祉部	健康推進課	内線等	8078
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	乳幼児・学童の個別予防接種事業				
根拠法令等	予防接種法		Ⓐ法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	保健
------------------	----

事務事業の内容

対象	蒲郡市の4か月児～90か月未満児及び小中学生の一部に
手段	個別で市内の医療機関で予防接種してもらうことによって
想定する成果	感染のおそれのある疾病の発生及びまん延の予防を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
延対象者数	5,948人	5,749人	5,450人
延接種者数	5,316人	5,045人	5,450人
予防接種内容	日本脳炎予防接種・麻しん予防接種・風しん予防接種		

成果指標

成果指標名	接種率	
成果指標の説明	年間延接種者数/年間延対象者数×100	

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	100.0%
	実績	89.4%	87.8%	-
成果指標	計画	-	-	-
	実績	-	-	-
事業費	事業費	54,955	55,082	61,615
	人件費	1,672	1,653	1,685
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	56,627	56,735	63,300
財源内訳	国	0	0	0
	県	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	56,627	56,735	63,300

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	3	2	接種率87%以上でほぼ目標に達している。
経済効率性	3	3	国の方針に沿い、麻しんの接種対象年齢を拡大した。今後、医師会への事業委託料の削減を図っていく。
事務効率性	2	2	予防接種は医師会委託であり、履歴入力は臨時職員で処理をし事務効率に問題はない。
必要性	3	3	予防接種法に基づいて実施しており、子どもの健康保持のために必要である。
小計	11 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	電話や窓口の対応時に市民の意見を聞き取っている。
合計	13 / 15 満点中	12 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	予防接種法に基づき実施しており、感染症の流行を抑えており子どもの健康保持のため必要な事業です。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

- ・麻しんの予防接種を平成14年度から接種期間を延長した。また、平成15年度から対象年齢を引き下げ1歳になったらすぐ接種できるようにした。
- ・平成12年度から外国人の対象者に母国語の問診票を同封し郵送した。

今後改善すべき点

- ・中学生の日本脳炎予防接種率向上のための対策。
- ・予防接種委託料の減額を医師会に交渉していく。

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	市民福祉部	健康推進課	内線等	8078
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	成人の集団検診事業				
根拠法令等	老人保健法		Ⓐ法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	保健
------------------	----

事務事業の内容

対象	蒲郡市の16歳以上・40歳以上の市民及び30歳以上の女性・40～69歳の女性に
手段	結核・肺がん・胃がん・乳がん・骨粗しょう症の集団検診を受診してもらうことによる
想定する成果	疾病予防と健康増進を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
定員	1,130人	1,110人	960人
延受診者数	911人	778人	960人
延要精検者数	155人	122人	155人

成果指標

成果指標名	受診率	要精検率
成果指標の説明	年間延受診者数/年間定員 × 100	年間要精検者数/年間延受診者数 × 100

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	100.0%
	実績	80.6%	70.1%	-
成果指標	計画	-	-	16.0%
	実績	17.0%	15.7%	-
事業費	事業費	2,463	2,607	2,741
	人件費	6,686	6,610	6,737
	(人数)	0.8	0.8	0.8
	合計	9,149	9,217	9,478
財源内訳	国	18	18	20
	県	18	18	20
	市債	0	0	0
	その他	615	699	819
	一般財源	8,498	8,482	8,619

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	受診率も定員の70%以上ありほぼ目標に近い。
経済効率性	2	2	受益者負担金を段階的に値上げしてきた。今年度から肺がん検診の自己負担金を徴収した。
事務効率性	2	2	検査は医師会委託であり、市は保健師による問診、聞き取り等であり効率性に問題はない。
必要性	2	2	事業所検診の受診機会のない自営業の方、高齢者、主婦等のためにも必要である。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	問診を聞き取る中で市民の意見を聞き取っている。
合計	9 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	老人保健法に基づき実施しており、病気の早期発見、早期治療に役立っており、今後も市民の健康保持のため必要性があると考えます。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

<ul style="list-style-type: none"> ・申し込みの少ない結核・肺がん検診及び胃がん検診の実施回数を減らした。 ・申し込みの多い乳がん検診の定員を増加した。結核・肺がん検診を平成14年度から有料とした。
--

今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> ・定員に対する受診者の増加を図りたい。

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	市民福祉部	健康推進課	内線等	8078
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	成人の健康相談事業				
根拠法令等	老人保健法		Ⓐ法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	保健
------------------	----

事務事業の内容

対象	蒲郡市の40歳以上の市民に
手段	健康管理及び健康づくりの相談や指導することによって
想定する成果	疾病予防と健康増進を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
実施回数	153回	154回	74回
延参加者数	1,588人	1,631人	911人

成果指標

成果指標名	1回当たり参加者数	
成果指標の説明	年間延参加者数/年間実施回数	

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	12.3人
	実績	10.4人	10.6人	-
成果指標	計画	-	-	-
	実績	-	-	-
事業費	事業費	305	259	317
	人件費	11,930	11,809	12,029
	(人数)	1.5	1.5	1.5
	合計	12,235	12,068	12,346
財源内訳	国	120	123	99
	県	129	92	99
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	11,986	11,853	12,148

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	地区別相談は地区によりばらつきがあり、相談件数の少ない地区は検討していかなければならない。
経済効率性	2	2	事業費は小額で、経済効率が高い。
事務効率性	2	2	保健師1名と食生活改善推進員1名で開催しているので効率性には問題はない。
必要性	2	2	市民の健康へのニーズと具体的な状況把握するために必要である。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	相談時に市民の意見を聞き取っている。
合計	9 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	市民の健康状況や健康に対する思いを聞き取り、地域保健にとっての重要な事業である。
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

- 健康教育等の保健事業と同時に健康相談を実施した。

今後改善すべき点

- より多くの市民が、気軽に健康相談を利用してもらえる相談場所を増やす。

平成16年度予算に反映する項目

組織、人員に関する提言

- 健康相談の窓口をより多くするために、事業内容を検討し、臨時保健師等で対応できるようにしていきたい。

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	市民福祉部	健康推進課	内線等	8078
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	成人の機能訓練教室事業				
根拠法令等	老人保健法		Ⓐ法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	保健
------------------	----

事務事業の内容

対象	蒲郡市の40歳以上の脳卒中等の後遺症で機能低下及び閉じこもりがちな人に
手段	機能訓練教室に参加してもらうことによって
想定する成果	生活の場を拡大し、意欲を持ち豊かで生きがいのある生活を送れるようにする。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
実施回数	49回	54回	52回
延参加者数	450人	464人	416人

成果指標

成果指標名	1回当たり参加者数	
成果指標の説明	年間延参加者数/年間実施回数	

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	8.0人
	実績	9.2人	8.6人	-
成果指標	計画	-	-	-
	実績	-	-	-
事業費	事業費	1,206	1,415	1,687
	人件費	7,522	7,437	7,580
	(人数)	0.9人	0.9人	0.9人
	合計	8,728	8,852	9,267
財源内訳	国	401	401	448
	県	382	382	448
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	7,945	8,069	8,371

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	2	介護保険サービス利用者以外の人の対象としており、年間延参加者も450人程あり、教室開催期待度も高い。
経済効率性	1	1	介護保険の導入により参加者が減少傾向にある。今後、自主活動を主に実施することで事業費削減を図っていく。
事務効率性	1	1	参加者が障害者のため、車による送迎も実施しており、また、スタッフも通常の教室より多人数で効率性は悪い。
必要性	2	2	介護保険認定外の人を対象であり、高齢化が進む中、開催する必要があると考える。
小計	7 / 12 満点中	6 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	毎回の血圧測定や生活状態の聞き取り時に、市民の声を聞き取っている。
合計	8 / 15 満点中	7 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	老人保健法に基づき実施しており、介護保険認定外の人を対象としており、今後高齢化が進む中、高齢者保健及び高齢者福祉の面からも必要があると考える。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

- ・介護保険の導入に伴い実施回数の見直しをし、実施回数を減らした。
- ・介護保険の導入に伴い、介護保険サービス利用者を対象より除外した。

今後改善すべき点

- ・対象者の把握に努め、1回当たり参加者を15名程度に増加させたい。

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	市民福祉部	健康推進課	内線等	8078
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	成人の歯周病検診事業				
根拠法令等	老人保健法		Ⓐ法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	保健
------------------	----

事務事業の内容

対象	蒲郡市の40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の市民に
手段	市内の歯科医院で歯周病検診を受診してもらうことによって
想定する成果	歯の健康増進を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
延対象者数	5,736人	5,839人	5,886人
延受診者数	389人	689人	647人
延要指導者数	346人	636人	582人

成果指標

成果指標名	受診率	要指導・要精検率
成果指標の説明	年間延受診者数/年間延対象者数×100	年間延要指導者・要延精検者数/年間延受診者数×100

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	11.0%
	実績	6.8%	11.8%	-
成果指標	計画	-	-	90.0%
	実績	88.9%	92.3%	-
事業費	事業費	1,787	2,948	2,688
	人件費	228	240	238
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	2,015	3,188	2,926
財源内訳	国	86	92	87
	県	88	95	87
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,841	3,001	2,752

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	受診者も少ないながら着実に増加している。また、受診者の約90%が要精検であり早期発見に役立っている。
経済効率性	1	1	「8020」の推進事業として実施している。検診から早期治療につなげ医療費の減額に貢献している。
事務効率性	2	2	検診は歯科医師会委託であるため事務効率は問題はない。
必要性	2	2	歯の健康保持のためには必要な事業である。
小計	7 / 12 満点中	7 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	電話や窓口での対応時に市民の声を聞き取っている。
合計	8 / 15 満点中	8 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	老人保健法に基づき実施しており、歯周病の早期発見、早期治療は必要な事業であり、今後も継続していく必要がある。
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

- ・ 広報・ポスター掲示により利用者の増加を図った。
- ・ 平成13年度より歯科保健の専門の歯科衛生士（非常勤職員）1名を配置した。
- ・ 平成14年度より休日歯科診療所でも受診できるようにした。

今後改善すべき点

- ・ 歯の大切さを広く周知し、受診者の増加を図りたい。

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

8078	市民福祉部	健康推進課	内線等	8078
------	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	休日歯科診療所管理運営事業		
根拠法令等	蒲都市保健医療センター管理規則	A 法令	B 条例	◎ 規則	D その他 E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	医療
------------------	----

事務事業の内容

対象	休日に発生した歯科急病患者に対して
手段	診療所を運営することにより
想定する成果	安心して医療を受けることができるようにする。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
延利用者数	270人	296人	245人
1日当たり利用者数	3.8人	4.2人	3.5人
開設日数	71日	71日	70日
診療費収入	2,009千円	2,229千円	1,773千円

成果指標

成果指標名	1日当たり診療所利用者数	診療費と事業費の比較
成果指標の説明	年間延利用者数/年間開設日数	年間診療費収入/年間事業費

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	3.5人
	実績	3.8人	4.2人	-
成果指標	計画	-	-	14.0%
	実績	15.9%	17.6%	-
事業費	事業費	11,804	11,806	11,799
	人件費	836	826	842
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	12,640	12,632	12,641
財源内訳	国	0	0	0
	県	433	390	427
	市債	0	0	0
	診療費収入	2,009	2,229	1,773
	一般財源	10,198	10,013	10,441

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	利用者数は少しずつ増加している。
経済効率性	1	1	周知成果により、利用者が増加した。歯科医師会の運営委託料の削減を図った。
事務効率性	2	2	運営は歯科医師会に委託しており、市は収入事務等に限定されており効率性に問題はない。
必要性	2	2	休日祝日、年末年始での歯科急病患者的のために必要性がある。
小計	7 / 12 満点中	7 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	歯科医師会の休日歯科診療所の担当者から、市民の声を聞き取っている。
合計	8 / 15 満点中	8 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	市民にも認知されてきており、利用者も着実に増加している。また、市民病院の救急外来に歯科は無いので必要性はあると考える。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

- ・ 広報・ポスター掲示により利用者の増加を図った。
- ・ 平成14年度に幡豆町・幸田町の広報に掲載をお願いし周知を図った。

今後改善すべき点

- ・ 利用者の増加及び運営費の削減を図り、一般財源の持ち出しを減少させたい。

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載